

胎内の桜と人で地域を盛り上げる「桜まつり」／中条町商工会青年部

- 4月にイベントがない。なぜ自分たちでやろうと思った？
4月は桜があつたりしていい時期なのにイベントがないのもったいない。青年部として活動できたらいいと話合っ、自分たちで始めようとなりました。
- 毎月イベント（4月を埋める）で狙った効果は？
毎月何かしらのイベントをやっていることで、年間を通して胎内市に来てもらいたいと思っています。
- 自分たちが主体でやってどう思った？
協力してくれる人のありがたさ。協力してもらうことの難しさを感じました。
- 桜まつりは何年からやっている？
2016年から。今年（2019年）で4回目。
- 会場はどこ？
これまでは総合グラウンドやぶれすぼ胎内。今年はロイヤル胎内パークホテル。
- 開催場所の選定により参加人数が異なるのでは？
そのとおりですが、毎回最大の効果を狙って開催しています。
- 取組にかかわった人数は？
商工会関係者が約30人、出店ブースが10団体ほど、その他出演者を含めると100人くらいです。
- ロイヤル胎内パークホテルまでの桜並木のPRが必要なのでは？
今年は桜まつりをロイヤルパークホテルで開催し、夜もライトアップしてPRします。
- 今年ロイヤルホテルで実施する最大の理由は？
広い芝生で遊べるなどリゾートの風景の中で楽しんでもらえることと、胎内リゾートの集客につなげたいと考えて場所を選びました。
- 会場までの輸送方法は？
これまでの開催ではありませんでした、今年はバス輸送をします。
- 開催のPR方法は？
ポスター・チラシ・市報・SNS・口コミ
- 市外から人を呼ぶ方法は？
出店者に市外のお店を入れることで、店にポスターを貼ってPRしてもらっています。

- 集客のターゲットは？
夜は大人、昼は家族連れ。
- 胎内のさくらの見どころは何処？
総合グラウンドの野球場の周り、胎内川兩岸の桜並木、きのとぎくら
- 桜の場所は点在している。アピール方法は？
桜祭りの開催を通して PR できればと考えています。
- 桜祭りはどこでもやっているが特徴は？
みんなで盛り上げ、楽しんでもらいたいということで、参加型でやっていることが特徴です。
- 雨の場合、イベント内容は同じですか？
雨のときの計画も考えてあり、雨でできないイベントはちがうものに変更します。
- イベント定着化に伴う内容のマンネリ化はないのか？
毎回、イベント内容や出店者を変えています。
- 桜まつりにおいて補助金が減ったり廃止したりでも継続は可能ですか？
継続が可能なように、今年から商工会の会員などから協賛も募って開催します。
- 商工会の加盟団体のメリットはどうだったか？
- 市の商工振興には結びついていますか？
売り上げや宣伝などの面で効果やメリットがあったものと実感しています。第1回の盛況ぶりを見て近隣の商工会からも出させてもらいたいという引き合いもありました。
- どの部分が協働になっている？
- 行政とはどう協働しているか？
市には、会場の準備などに協力してもらいました。また、自分たちが知らない人たちを紹介してもらいました。自分たちで探すのも大事ですが、お願いすることも大事です。
- 観光課と一緒にやっていますか？ かかわりは？
胎内市のイベント情報として掲載してもらうなど PR をしていただきました。また、観光協会とは共催の形で、ポスター代を出していただきました。
- 多様な主体を巻き込む「コツ」は？
自分たちがいろんなイベントに出て行くこと。色々なことを学んで、いろいろな人とつながることによってたくさんの発見を得ることができます。
ブース出店・イベント出演などの協力やお願いごとについても、青年部の活動を通してできたつながりを活かしています。